公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかりの芽		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士と共に個々の発達や課題を考え、集団生活に目を向けた支援を行っている。	様々なジャンル(手指・運筆など)の課題プログラムを作成し、個々の発達段階に応じて行っている。 毎回個々にねらいを設定し行う事で、フィードバックを行えるようにしている。	フィードバックを丁寧に行い、個々の得意な事・苦手な事の分析を行っていく。 ペアなどで行う課題を設定し、コミュニケーション面にもアプローチできるようにしていく。
2	園併設型の為、園に遊びに行く機会を設けて交流したり、広い園庭で遊具などを使い、身体を思いっきり使い遊ぶ楽しさを味わえるようにしている。	移動の際に道路を横断するため、交通ルールを伝えたり、施設にはない階段や三輪車などを使う事で、運動機能にアプローチできるようにしている。 園の子と関わる事で、やり取りや遊びを真似するなど遊びに幅が出るよう支援をしている。	園に遊びに行く機会や、施設に来てもらう機会を増やし、集団に慣れたり、様々な経験ができるようにしていく。
3	毎日一人一人の記録を書き職員間で様子の共有をしたり、保護者に記録と写真の配信を行っている。 インスタグラムでも週1回、活動の配信を行っている。	トラブルなどがあつた際も、解決や気持ちの切り替えの仕方に目を向けた記録を心掛けている。 インスタグラムなどの配信は、プライバシーにしっかりと配慮している。	共有ノートなどを、より多く活用し職員間の情報共有を徹底していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの開催がなく、保護者同士の関りの機会がない。	保護者会や参観などイベント開催の経験がない。	保護者会など意見交換の場を設けられるようにしていく。
2	地域住民や、施設との交流がない。	地域住民と関わるイベント開催や関わる機会がない。	散歩や公園へ行く機会を増やし、関りを持てるようにしていく。
3			